

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	健康学習推進事業	会計	一般会計	事業No.	787	施策順No.	31-019	
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-4-11-2			
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	公民館			
施策	31 心と体の健康づくり			事業期間	開始	18	終了	23

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人)	107259	106630	105691	105036		
	意図	・健康は自分自身で守るものであり健康で豊かな暮らしが送れるよう、自らの健康に関心を持つ。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	講座への参加者延べ数(人)	2477	2156	2103	2500	3035	2500	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	数値的には毎年目標値に近い実績で事業を展開できた。但し、成果としてのこの数字が事業の意図する状態を示しているのかを後期計画に向けて検討が必要。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	・あらゆる世代の市民を対象に、保健師や栄養士と連携し、様々な角度から医療、運動、栄養など健康を課題とした学習活動の実施。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 学級・講座等の実施(各公民館) 【橋北】健康教室、【橋南】健康講座動脈硬化を予防しよう、【丸山】健康ストレッチ教室、【東野】健康麻雀教室、【座光寺】高陵地区体力測定会、マレットゴルフ初心者講習会、【松尾】男踊り教室、健康教室、【下久堅】からだケア教室、ヨガ・ストレッチ教室、【竜丘】親子の栄養講座、囲碁ボール講習会、健康講座、【川路】男の料理教室、さわやか健康教室、【山本】出張健康講座、食育講座、【伊賀良】男性の料理教室、【鼎】料理教室、【上村】冬季スポーツ大会、【南信濃】高齢者運動教室 ～楽しく動いて脳活性～	講座等開催数 延べ参加者数	125回 3,035人
23年度実施計画	1 学級・講座等の実施(各公民館) 〈主な計画〉・健康教室・健康講座 【橋北・橋南・羽場・丸山・東野・松尾・龍江・川路・上村】 ・ラージボール卓球【丸山】、体力測定会【座光寺・上郷】、 ・ベタンク大会【下久堅・伊賀良】、男性料理教室【上久堅・川路・伊賀良】 ・ニューススポーツ講習会等【上久堅・千代・三穂・上郷】、親子の栄養講座【竜丘】 ・健康と福祉の学習会【山本】、華甲大学(高齢者学級)【鼎】、 ・南信濃健康祭り【南信濃】 など	講座等開催数 延べ参加者数	100回 2,500人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		455	320	432		
計(A)		455	320	432		
正規職員所要時間			769			
臨時職員等所要時間			185			
人件費計(B)			2,949			
トータルコスト A+B			3,269			

4 事業に対する市民や議会の意見

・「65歳以下の市民を対象とした生活習慣病等に係る周知・啓発に力を入れる必要がある。」「栄養士、保健師、看護師などのマンパワーを活用した新たな事務事業が必要である。」と議会からの提言がある。  
 ・「心の病を抱えている人のケアやサポートには、専門家だけでは無く経験者などを含めて周りの人との関わりが必要である。また地域や事業所での取り組みも必要である。」と第5次基本構想基本計画推進委員会からの意見がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が心身ともに健康を保つ	施策の成果指標又はムトス指標	心身共に健康であると感じている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	公民館では、保健師等と連携した健康に関する学級講座のほか、スポーツや運動の機会を設けることで、心身の健康づくりに結びつく事業を展開してきた。		
	後期に向けた課題	引き続き健康づくりに結びつく機会の提供を担っていく必要があること。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	スポーツも過激なものではなく、ニュースポーツなどいつでも誰でも気軽に取り組めるメニューの体験機会を提供、紹介してきた。		
	後期に向けた課題	引き続き健康づくりに結びつくメニューを提供していく必要があること。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	必要最低限の経費でスポーツ大会や健康づくりの機会を提供し、料理教室等では必要に応じて受益者負担も求めて実施してきた。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	料理教室等では必要に応じて受益者負担も求めて実施してきた。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①健康づくりは個人が主体的に取り組むべき課題である。 ②公民館は、専門機関(専門家)と連携して主体である市民(地域住民)が健康づくりに取り組めるよう支援してきた。		
	後期に向けた課題	公民館は、引き続き健康づくりに結びつくメニューを提供していく必要があるが、健康は個人個人の課題でありその意識付けを図っていくことにも課題がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地区の運動会も含め、公民館は交流を通じた仲間づくりを重視しながら結果的に健康づくりに結びつく機会を提供してきた。		
	後期に向けた課題	健康づくりは公民館の事業分野でも重点的な分野であるが、公民館の役割は学習と交流を深めることから人づくり・地域づくりの一翼を担っていくことにある。細々目の分割により「31心と体の健康づくり」施策に位置づいているが、公民館ではこの事業も、地域住民の学習と交流の一環として展開するものであり、「28 学習交流活動の推進」に位置づけることが妥当と考える。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------